

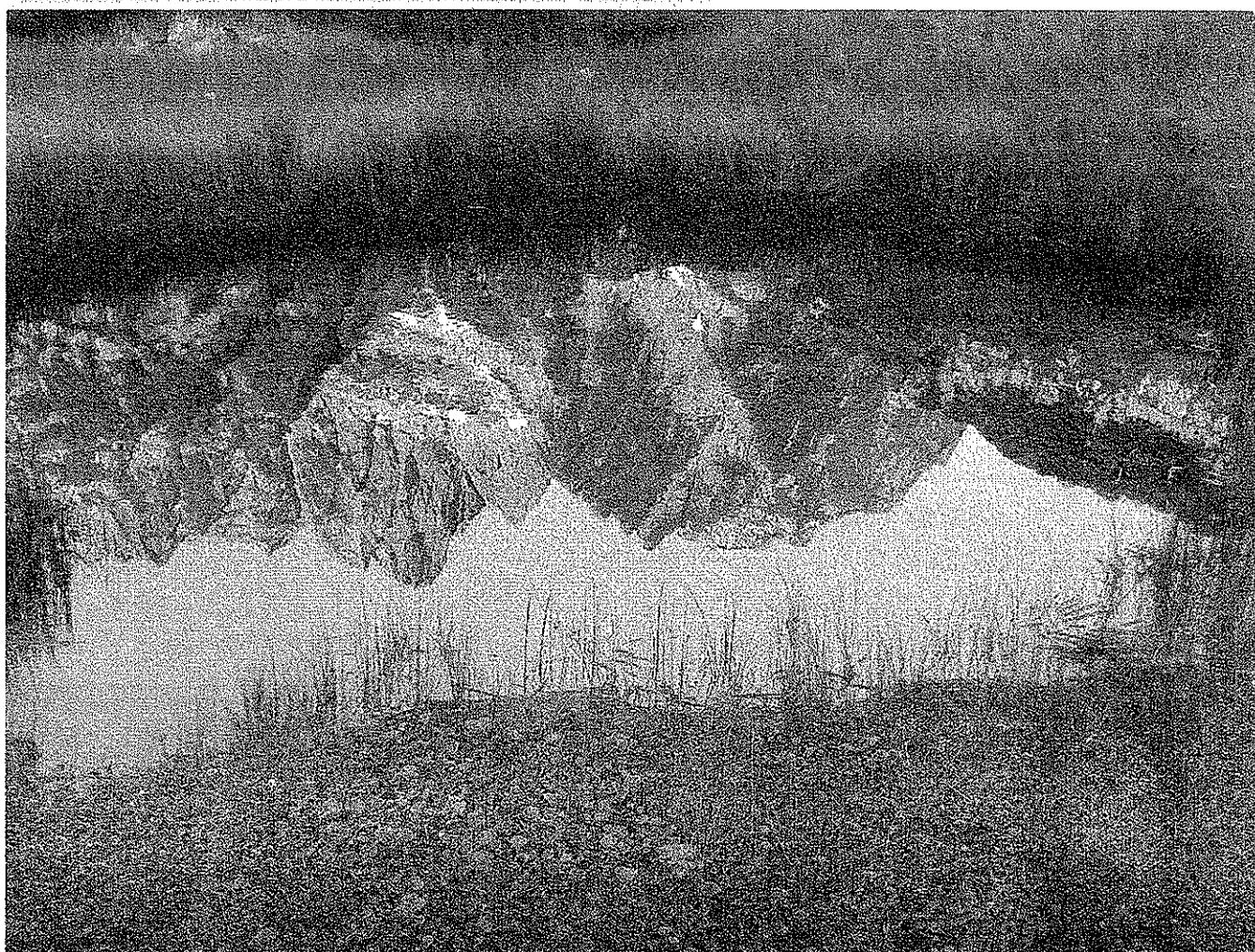
# グリーンニュース 第40号

発行年月日 平成 21年 9月 30日  
発行責任者 群馬県環境アドバイザー連絡協議会  
代表 鈴木 克彬

環境アドバイザー重点行動テーマ

## 行動する環境アドバイザー

・・・研修・情報交換の場を広く・・・



【湖面に映る剣岳投影・池ノ平にて】

- |   |        |
|---|--------|
| ☆環境政策課からのお知らせ                           | (2ページ) |
| ☆連絡協議会代表をお受けして                          | (3ページ) |
| ☆温暖化・エネルギー問題への提言・CO <sub>2</sub> 削減に向けて | (4ページ) |
| ☆ごみの減量化と有効利用を目指して・レジ袋削減に向けて             | (5ページ) |
| ☆皆さんからも情報発信を!・みやすい広報を目指して!              | (6ページ) |
| ☆豊かさの質が問われる社会・究極のエコカー?はインドにあった!         | (7ページ) |
| ☆広報ア・ラ・カルト                              | (8ページ) |

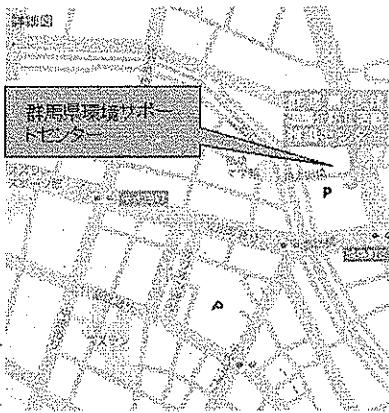
## 第8期群馬県環境アドバイザー 登録者251名に！(H21.8.6現在)

今年の4月より第8期(H21.4.1～H23.3.31)がスタートしましたが、おかげさまをもちまして、たくさんの方にご登録をいただき、各地域でご活躍いただいております。

なお、申請の受付は随時行っていますので、一緒に環境活動を行っている方がお近くにいらっしゃいましたら、環境アドバイザーにつきまして、紹介していただければと思います。

みなさまにおかれましては、登録期間中、ぜひ自発的に地域等での環境保全活動を続けていただきますよう、よろしくお願ひいたします。

### 環境サポートセンターをぜひご活用ください！



県では、環境学習や環境保全活動の総合的な窓口として、環境サポートセンター（〒371-0016前橋市城東町2-3-8、赤城県道沿い前橋市営城東パーキング1階）を設置しています。環境に関する質問や相談をお受けするほか、各種環境学習資料の提供や図書・ビデオ・DVDの貸出し等もおこなっております。ご利用は無料ですので、ぜひお気軽にご相談ください。城東パーキングも無料でご利用いただけます。

なお、群馬県地球温暖化防止活動推進センターも同じフロア内にありますので、ぜひお立ち寄りください。

また、エコムーブ号が出動する「動く環境教室」へのお申し込みもお待ちしています。

さらに、アドバイザー自身が環境学習の講師となって学校等へ出向く学習サポーターも募集します。詳しくは後日発送予定の学習サポーター研修会（秋に予定）通知をごらん下さい。

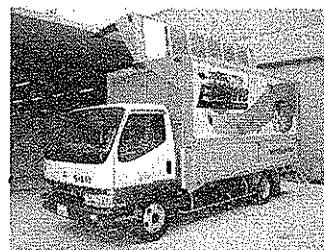
問い合わせ先：環境サポートセンター

（平日 9:00～17:30）

TEL：027-232-9045

FAX：027-232-9046

E-Mail：gunma-esc@dan.wind.ne.jp



### ストップ温暖化！県民アクション

環境政策課では、地球温暖化について県民のみなさんに知ってもらい、温暖化防止に向け、日常生活で実際に行動してもらうこと、アクションをおこしてもらうためのワークブック「ストップ温暖化！県民アクション」を作成し、配布を始めています。

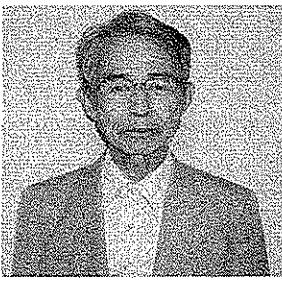
◎ストップ温暖化！県民アクションとは

一人ひとりが3日間、電気、車、ごみ等の10項目で、二酸化炭素削減のための行動をまずは3日間実践していただきます。行動することでどれだけの二酸化炭素を削減できたか、行動の成果を体験できます。

平成20年度は、4,845人が参加し7,703kgの二酸化炭素を削減しました。ぜひ、身近な方にも参加を呼びかけてください。



# 連絡協議会代表をお受けして



今般再度代表をさせていただくことになりました。よろしくお願ひ致します。

そこで現在、群馬県が抱えている環境テーマ・課題に対し、私なりに考えていることを提起し、環境アドバイザーの皆様と一緒に検討したいと思います。

## A レジ袋無料配布の中止(レジ袋の有料化)県下一斉実施へ

今般群馬県は、画期的なことをしようとしています。それは、県の働きかけで、レジ袋削減の協議会をつくり、協定を結んで、県内すべての食品スーパーで『レジ袋の無料配布を中止する』という施策を推進しようとしています。

そもそも日本は、地球温暖化防止対策に対し、事業者は、企業戦略として、CO<sub>2</sub>の排出削減を積極的に行い、それなりの成果をあげています。しかし一方の国民は、情報・知識は持っているが、具体的な行動となると、“今一步で、何を具体的にするか”が問われています。そこで群馬県は、“県民一人ひとりの具体的な行動の導入口として”日常生活に直接結びつくレジ袋削減の運動から始めたいと考えています。

私は日頃から、環境対策としては、国・地方自治体の強いリーダーシップと経済的インセンティブ(効果)を加味した『仕組みづくり』が大切だと思っています。私達環境アドバイザーはこの『レジ袋無料配布中止』政策に対し、いかにバックアップし、成功させるかが問われると思います。尚、スケジュールとしては、平成22年(2020年)2月実施スタートを考えています。

ただ一つ共通理解しておきたいことは、この政策は『決して物価値上げではない・弱いものいじめない』ということです。マイバッグ(マイバスケット)を努力して持参すれば無料なのですから……

## B その他群馬県民として考えたいこと

### 1 森林保全対策

非採算化、高齢化、相続の不明確化による山持ち主の不明等、現在群馬県面積の70%を占める山々には、人の手が入らず、日々荒廃化への道を進んでいると思われます。このことは、地球温暖化防止面のみならず、自然災害の点からも見逃せない問題です。財政面、法制面等を含め火急の対策が必要と思われます。

### 2 ごみ削減対策

一般県民から出るごみの量は、いっこうに減りません。その結果、地方自治体は、多額の財政負担や埋め立て処理場の確保難等に手を焼いています。勿論リサイクルも大切ですが、最も必要なのは『発生抑制(Refuse)』だと思います。ごみ処理費の有料化、デポジット制の導入等、全国的な課題に取り組まなくてはならない時期に来ていると思います。

(代表 鈴木 克彬)

## 新任・副代表・部会長の挨拶



### 温暖化・エネルギー問題への提言

地球温暖化防止は、21世紀における最大にして緊急の課題であることは、近年の異常気象、世界的水不足、食糧難、生態系の変化、種の絶滅といったことを見れば一目瞭然です。

しかし、日本では京都議定書による90年比で温室効果ガス、-6%が達成できないのはおろか、2020年までの中期目標を何と2005年比にして、-15%という、あまりにも楽観的としか言いようのない数値で政治的決着を図ろうとしています。

確かに温暖化問題は一国ではどうこう出来ない世界的課題ではありますが、先ず日本として、この群馬で、各企業・家庭・個人で何をどう取り組むべきかを早急に具体化し、一つずつ確実に実行していかなければならぬでしょう。

私自身、環境アドバイザーとして14年、その間、温暖化防止活動推進員として3期目、NPO 温暖化防止ぐんま県民会議や同センターの立ち上げに関わり、アドバイザー協議会の副代表として、今年度「温暖化・エネルギー部会」を担当することになりました。これを機に次の5点について問題提起し、皆さんのご意見・お知恵を頂ければ幸いです。

- 1、 県温暖化防止活動推進員との連携。
- 2、 県温暖化防止活動推進センターの活用。
- 3、 県温暖化防止条例（素案）の学習。
- 4、 県第2次コツコツプランの学習。
- 5、 新エネルギーの技術開発の現状と問題点。



8月10日記（副代表・温暖化エネルギー部会担当 城田 博巳）

### CO<sub>2</sub>削減に向けて

この4年間部会を担当してきました。この間、京都議定書の約束時間がスタートし、温暖化対策への世論も高まり、また、原油の高騰で新エネルギーが見直されてきました。部会ではこれまで菜の花PJや小水力発電等を取組んできたところですが、大きな動きには至っていません。

今回、登録された部会員にはCO<sub>2</sub>削減に向けてのプランがあれば積極的に提案してもらい、群馬から少しでもCO<sub>2</sub>削減に結びつく行動ができればと思っています。

（温暖化・エネルギー部会長 小川 仁司）

## ごみの減量化と有効利用を目指して



今、地球は、重い病に侵されており、北極の氷があと30年程で解けてしまうといわれています。このような時、地球上の総ての人々が英知を結集して『ストップ温暖化』を目指しそのための行動を起こさなくてはなりません。

近年、ごみが増えてきて埋立地が一杯になり、新たな埋立地を探さなくてはならない自治体が多いでしょう。ごみは燃やすと煙と灰がでます。ここに公害問題が発生します。

私は最近、東京の日本橋川、高崎市内を流れる一貫掘り川や井野川の浄化活動等に参加してきました。井野川では20名程のボランティアが、2時間ほどで収集したごみ袋は100袋以上でした。このようなごみの実態からごみの不法投棄を無くしたいものです。これからも子どもの頃から環境教育にしっかり取り組む必要があります。

生ごみは、ごみを堆肥化・資源化し大地に返し、ごみの自然循環型社会の実現を進めて行き、また県内にバイオマスのモデルを皆さんと共に考えてゆきたいです。

環境アドバイザーはごみ減量化のけん引き役であり、ごみ部会は皆さんで魅力ある部会にしたいです。ごみに関する情報交換の場であり、各地域にごみを減量化するアクションを起こして行くつもりです。部会ではフランクに発言、提言し各地域が連携し、ごみの減量化・有効活用する協同できるようご支援の程お願い致します。



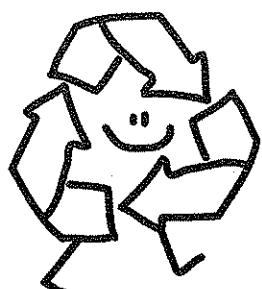
(副代表・ごみ部会担当 青木 純郎)

## レジ袋削減に向けて

環境問題へ関心をもつききっかけとして、ごみに関することやリサイクルに関するすることは身近なこととして様々な取り組みがあります。

当部会の今年度の取り組み課題は、部員各位から寄せられた意見を討議し決定していく所存ですが、まずは前年度からの課題となっている「レジ袋削減」に向けて推進の強化を図って参ります。

またリサイクルという課題についても、市民レベルではどのようなことが可能か、行政や企業と連携していく方法はどのようなことがあるのかなどといったことなども研究してまいりたいと存じます。



ごみ・リサイクル部会に対するご意見やご指導は、部会以外の方々からも大いに頂戴し反映させていきたいと思いますので、どうぞ宜しくお願いいたします。

(ごみ部会長 須永 徹)

## 皆さんからも情報発信を！



今回、第8期群馬県環境アドバイザー連絡協議会の副代表を受けさせていただくことになりました。微力ながら協議会全体の運営や広報部会担当副代表として皆さんのお役に立てるよう努めたいと思いますので、ご指導・ご協力のほど、よろしくお願ひ致します。

### ◇連絡協議会・地域活動情報の迅速な提供に努めます

広報部会は、環境アドバイザーの皆さんの活動を支援するため、グリーンニュースの発行とホームページの更新を行い、県や連絡協議会の情報、各地域の環境アドバイザーや活動団体の地球環境保全活動状況の紹介しています。

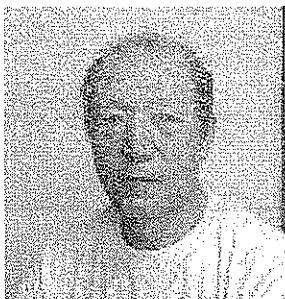
先輩方が積み上げてこられたグリーンニュース、ホームページを、より迅速な発信に心がけ、さらに読み易く見易い、アドバイザーの皆さんにとって有用な情報源となるよう、広報部会の皆さんと知恵を絞っていきたいと思います。

### ◇皆さんからの積極的な情報提供をお願いします

環境アドバイザーの皆さんからも、広報部会への要望を寄せていただくとともに、地域活動や専門部活動状況のより積極的な情報提供をお願いします。各地域、グループの先進的・効果的な活動を紹介していただき、情報を共有することで、待ったなしの地球温暖化対策が、各地域でさらに効率的に行われること、テーマによっては全県の取組みに発展することを願っています。

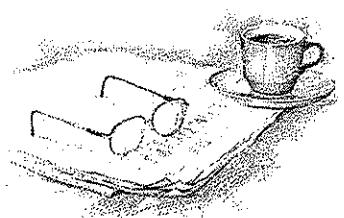
(副代表・広報部会担当 吉澤 敏則)

## みやすい広報をめざして！



何年か前より広報には関心があり、会報の会議にはなるべく出席し編集や連絡等にも携わってきました。グリーンニュースは諸先輩方の編集方法を大切にしながら会員の皆様が読みやすく、また更に環境問題に各自が取り組めやすくする記事を多く取り入れて発刊して行きたいと思います。

また、皆さんの活動の現場にも参加し記事を取材することも考えています。よろしくご指導の程お願い申しあげます。



(広報部会長 原田 邦昭)

## 豊かさの質が問われる社会



広大な宇宙の中にあって太陽の寿命は 100 億年とも云われています。地球が生まれてから既に 46 億年が経過していますので太陽の恵みは残り 50 億年と云うことでしょうか？

ヨーロッパで起こった産業革命以後人間活動により、地球環境の変化が問題とされ各国で様々な取組が始まっていますが、現在までもう一つ有効な成果は見えてきたとはいえない。私達が毎日の生活の中から出来る事を見つけてそれを実行に移していくなければ、今後私たちの地球はどうなってしまうのでしょうか？ もう少し大きな声でこの問題を正面から向き合いましょう。

肩の力を抜いて科学的な知識と楽しく出来る行動力が必要だと思います。

今年度の環境アドバイザー登録(7/30)245名の仲間と自然環境部会加入の65名のみなさん、さあ始めましょう!!

(自然環境部会長 宮崎 亮二)

## 究極のエコカー？はインドにあった！

世界の自動車メーカーが続々とエコカー市場へ参入の見込みです。

ハイブリッド車、電気自動車、クリーンディーゼル車、プラグインハイブリッド車、天然ガス車、燃料電池車・・・と多種多様なエコカー市場、20 年後、そのトップを走っているのは、どんなエコカーなのでしょうか。

ところで、エコカーって何だろうと考えてしまいました。

先日行ったインドでは写真のようにオートバイには 5 人乗り、小型乗り合い自動車には 3 人 4 列で何と一度に 12 人乗車、バスも屋根上まで人で溢れ、トラックには牛や荷物と一緒に多くの人が乗って走っていました。

これこそ究極のエコカー！？

インドの人口は日本の 10 倍、国土は日本の 9 倍、安全性を無視すればエコカーなんですかね。？



5 人乗りオートバイ



バスは屋根上まで人が溢れ



人荷混載 トラック

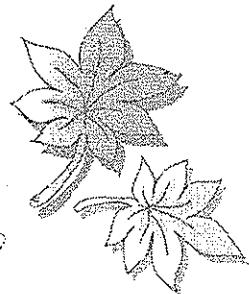
(高崎地区会 濱間 勝利)

# ぐんまアドバイザーネット

(情報・話題・連絡・お知らせ etc.)

## ◎表紙写真

〈田中和夫氏撮影〉今夏公開された映画「点の記」で有名になった北アルプスの剣岳です。訪れる人も少なく秘境とも言える池ノ平湿原の池に映る岩峰は絶景です。



## ◎環境アドバイザー幹事 名簿

地域	通番	登録番号	氏名	住所	備考	地域	通番	登録番号	氏名	住所	備考
前橋 (10名)	1	H2101002	林 英男	前橋市		安中 (4名)	28	H2104012	鬼形 明房	安中市	書記
	2	H2101003	片山 滉秋	前橋市			29	H2104033	大野 茂	安中市	地域世話役
	3	H2101004	宮崎 亮二	前橋市	自然部会長		30	H2104047	吉澤 敏則	安中市	副代表
	4	H2101015	城田 博巳	前橋市	副代表 地域世話役		31	H2105010	磯貝 享子	安中市	
	5	H2101016	市村 陸	前橋市		藤岡 (2名)	32	H2105006	辰身 武昭	藤岡市	地域世話役
	6	H2101018	笛木 京子	前橋市			33	H2105011	小野澤博之	藤岡市	
	7	H2101023	福田 茂子	前橋市	書記		34	H2106002	吉田 孝	富岡市	地域世話役
	8	H2101027	鈴木 浩子	前橋市			35	H2106006	井川 英司	富岡市	
	9	H2101029	鈴木 克彬	前橋市	代表		36	H2106007	市川 鶴男	富岡市	
	10	H2101042	小川 仁司	前橋市	副代表 地域世話役		37	H2106015	森田 和宏	甘楽町	
渋川 (2名)	11	H2102003	佐藤 孝史	渋川市	地域世話役	吾妻 (2名)	38	H2107003	唐沢由喜子	東吾妻町	地域世話役
	12	H2102004	飯塚 輝雄	渋川市			39	H2107004	浦野 安孫	長野原町	
伊勢崎 (5名)	13	H2103001	中澤 文雄	伊勢崎市		沼田 (2名)	40	H2108002	池田 年明	沼田市	
	14	H2103008	千葉 弘孝	伊勢崎市	地域世話役		41	H2108006	角田 和男	沼田市	地域世話役
	15	H2103010	下城 茂夫	伊勢崎市		太田 (5名)	42	H2109008	須永 徹	太田市	ごみ部会長
	16	H2103015	吉江 富雄	伊勢崎市			43	H2109010	岡田 俊夫	太田市	書記
	17	H2103020	増茂 満	伊勢崎市			44	H2109012	久保田文三	太田市	
	18	H2104005	原田 邦昭	高崎市	広報部会長		45	H2109016	天笠 正義	太田市	地域世話役
	19	H2104010	茂木 良雄	高崎市			46	H2109017	飯塚 清苑	太田市	
高崎 (10名)	20	H2104017	生方 輝亘	高崎市	地域世話役	桐生 (3名)	47	H2110001	彦部 雪夫	桐生市	
	21	H2104020	瀬間 勝利	高崎市			48	H2110002	星野 智慧	桐生市	副代表 地域世話役
	22	H2104023	奈賀由香子	高崎市	書記		49	H2110011	高木 厚	桐生市	
	23	H2104026	田中 和夫	高崎市	書記	みどり (4名)	50	H2110004	丸山 芳徳	みどり市	
	24	H2104030	青木 純郎	高崎市	副代表		51	H2110005	石原 聖平	みどり市	
	25	H2104036	中澤 章	高崎市			52	H2110008	鹿沼 黒	みどり市	
	26	H2104043	畔見 和佳	高崎市			53	H2110020	友部 悅子	みどり市	書記
	27	H2104009	中村 文彦	高崎市		館林 (2名)	54	H2111005	荒井孫四郎	館林市	
							55	H2111007	細田 貴子	館林市	

今後の行事予定並びに行事報告はインターネット・ホームページ

「ぐんま環境アドバイザーネット」

<http://gadviser.hpt.infoseek.co.jp> に適時、掲載されています。

行事予定・報告等の掲載を要望される方は下記の E-MAIL アドレスに連絡ください。

[gadviser@infoseek.jp](mailto:gadviser@infoseek.jp)

「クリーンニュース」のバックナンバーもホームページでご覧になれます。